

漢方 小児科 婦人科 内科 産科 浮田医院 だより



第 104号

医療法人 せゝらぎ 会
発行所：浮田医院

〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28

TEL 0740-32-3751

FAX 0740-32-3795

ホームページ: <http://www.ukita.gr.jp>e-mail: kanpou@ukita.gr.jp

発行日：2013年10月5日(土)

発行者：浮田 徹也

漢方薬のよさ(104)

冷え症 II



山本 巖

(前号続き)高島市はわが国における陽明学の開祖と言われる中江藤樹の教えが息づいている。先生は徳行、感化によって、「近江聖人」と称えられている。近江国高島郡小川村に生まれる。近江国高島郡小川村に生まれる。独学で『四書大全』を読み、朱子学に傾倒する。しかし、「王龍溪語録」や「王陽明全書」に出会い、王陽明の「致良知説」と信奉し、ふるさとの小川村で私塾を開き、41歳で亡くなるまで武士や農民に「孔孟の学」や「陰陽」を教えた。熊沢蕃山、淵岡山、中川貞良・謙叔兄弟、泉仲愛らの門人がいたが、中でも岡山藩で活躍した熊沢蕃山の事績により、藤樹先生の名声は一段と高まった。また、有名なエピソードの一つとして、魯鈍の門人、大野了佐に「捷徑医案」を著わして熱心に医学を教え、立派な一人前の医者になってあげた話があり、人を教えて倦まない藤樹先生の生き方が窺える。藤樹先生の縁で高島市は多くの町と友好関係を持っている。中でも、中国余姚市は、実践儒学陽明学を起こし、「致良知」と「知行合一」

(知と行を切り離して考えるべきでない)を主張した王陽明(王守仁)が生まれた町で、その思想が藤樹先生に伝えられたと言われています。大洲市には、10歳から27歳まで在籍し、地方民政をあずかる一方、中川貞良をはじめとする同僚の人たちと儒学の研鑽に励んだそう。

高島では、高島で生まれ育っていない、よそから来た人のことを「風の人」というそう。私は「風の人」だからこそ、この地の輝きや豊かさを新たな目で見つめ、色々気づくことが多いのだろう。今まで、高島で生まれ育った「土の人」の



藤樹書院(安曇川)

目に映らない部分も見つめながら過ごしてきた。私の脳裏にはいい思い出ばかり詰まっている。堅田という新しい土地での診療も精一杯の努力をしよう。

冷え症のお話です。

冷え症の定義は「身体他の部分はいくく冷えを感じないような室温において、身体の特定位位のみが特に冷たく感じる場合を言う」。女性の50%に認められ、貧血、新陳代謝障害、甲状腺機能低下症、レイノー病(循環障害)、低血圧症、胃腸障害、更年期障害、慢性関節リウマチ、衣食住様式(冷たいビール、アイスクリーム、生野菜や果物、刺身・漬物、ダイエット、エアコン、ミニスカート、睡眠不足、ストレス、運動不足)、女性は元々男性より筋肉量が少ない等が原因です。治療は、虚弱体質、青白い顔、全身的な冷えを感じるタイプ(陽虚)、胃腸症状、胃下垂傾向タイプ(脾虚)、末梢循環障害、血液凝固線溶系異常、末梢四肢に冷えが現れるタイプ(瘀血)、顔色が悪い、乾燥肌、口唇が荒れる、爪がもろい、目がかすむ、動悸、めまいタイプ(血虚)、冷えのぼせ、頭痛、動悸、異常発汗タイプ(気逆)、身体の重い感じ、朝のこわばり、立ちくらみ、めまい、動悸、胃腸症状(悪心、嘔吐、口渇)タイプ(水毒)により漢方薬を選択します。



では**案例**に移ります。

73歳女性、**冷え症**、めまい（歩行中引込まれる感じ）、足が重い、便秘、冷え、高血圧症、高コレステロール血症、喘息、腹満（ガス）、喉渇き、不眠、寝つき悪い、頻尿、耳鳴り、鼻閉、汗をかきやすい。8年前、脳梗塞（メーリングが打てなくなる）、5年前初診（種々の西洋薬服用中）。顔色は青白く浮腫、腹部は柔らかく、胃内停水、臍上悸、下腹部に軟弱。脈は沈、細、遅。舌は、淡紫紅色、薄黄苔、乾、舌下静脈軽度怒張。そこで、柴胡加竜骨牡蠣湯＋大黃牡丹皮湯を処方。2ヶ月後、症状ほぼ消失（今までの苦痛がうそのように去った）。現在も服用中。

45歳女性、**更年期障害**、異常発汗のぼせ、憂鬱、イライラ、めまい、食欲不振、月経前の憂鬱さのため、HRT（ホルモン補充療法5年間）を受けてきたが、症状が改善しないため漢方薬を希望して来院。2月と言うのに、汗をビッシヨリかき、赤ら顔で入ってこられた。137／85、便通1日1回。腹部は中程度の硬さ、臍上悸（＋）、胸脇苦満（＋）、臍下不仁（－）。脈は浮、細、数。舌は、淡紅色、乾、薄白苔。そこで、苓桂朮甘湯＋四物湯と桂枝加黃耆湯を処方。3ヶ月後、めまい、たちくらみ、動悸改善。抑肝散加陳皮半夏＋黃連解毒湯と桂枝加黃

耆湯を処方。5月後、発汗、憂うつ、イライラなど改善。2年間服用後廃薬。

70歳女性、**不眠**、145cm、42kg、顔色良好、食欲やや低下、便秘（1週間に1回）、記憶力低下（－）。お腹は軟弱、胸脇苦満、心下痞硬、両側腹直筋緊張、脈は沈、細、弱。そこで、柴胡桂枝湯＋当歸建中湯＋大黃、酸棗仁湯を処方。2ヶ月後、不眠、便秘改善傾向。6ヶ月後、睡眠5～6時間、便通毎日。3年後現在も継続中。

29歳女性、**口内炎**、胃腸障害（時々下痢、食欲低下）。顔面紅潮。腹部は軟弱、胃内停水、臍上悸、心下痞硬、臍下不仁（下半身虚弱）。脈は浮、数、弱。舌は、淡紅色、湿白黄苔、舌下静脈軽度怒張。そこで、抑肝散加陳皮半夏＋黃連解毒湯を処方。2ヶ月後、胃腸障害やイライラ感減少。1年後、口内炎症状なくなり廃薬。

次回は、**妊娠中の感冒**です。

〔院長〕



更年期障害

女性ホルモンが不足し始める45歳から55歳前後の女性の60～70%が何らかの症状があり、20～30%に治療が必要です。血管運動神経症状（hot flush）と精神神経症状（イライラ、憂うつ、不眠）、皮膚や膣萎縮（おりもの）、骨粗鬆症、高脂血症、アルツハイマー病（記憶低下）などの症状始まります。当院では、子宮癌検査（頸部、体部）、乳房検査、血液検査、心電図なども実施しながら、漢方薬治療やホ르몬剤治療を行っています。



不眠

体内時計は、日の出の時刻や気温の影響を受ける。本来、人の睡眠時間は7～8時間が理想。睡眠不足は血圧や心拍数の増加、動脈硬化、心肥大、血糖値上昇などを引き起こす。年齢を重ねると、「眠れない」と訴える高齢者が増える。床の間に入る時間が早すぎたり、室温を上げ過ぎないこと。通常温めた体が冷めて行く時脳温の低下と共に自然に眠くなる。体調を調べて自然な睡眠を願い漢方薬を試してみてもいいがですか。



口内炎

ウイルス、真菌性、物理的刺激など原因は色々。アタ性口内炎は表面が白い偽膜の浅い潰瘍、境界は不明瞭で周囲粘膜に発赤、2週間程度で自然治癒。単純性ヘルペスなどのウイルス性口内炎は数mm大の白い潰瘍の癒合。発熱、口内炎出現前の水疱を伴う。義歯や尖った歯などの物理的刺激物が原因の口内炎は治りにくい。2～3週間経過しても治らない時口腔外科を受診する方がよい。慢性口内炎に漢方薬も効果がある。



剤型

★ 当院の漢方治療 ★



- ・エキス漢方薬：錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。25～30分煮て作ります。

当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫(冷凍庫)で保管して下さい。

漢方薬が固まりやすい場合、当院の漢方薬専用容器(300円)をご利用下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。

・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性脾炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・

・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が向こう：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、膣分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

浮田医院 堅田へ移転

湖西地域(大津市及び高島市)の周産期医療体制を守るため、今年11月5日、浮田医院を安曇川から堅田へ移転いたします。外来は10月31日まで安曇川で、11月5日から堅田になります。分娩と帝王切開は10月31日まで安曇川で、11月1日から堅田になります。

堅田浮田クリニックでは、院長と院長の長男と次男両医師を中心とし、その他複数の医師で診察を行って参ります。

移転時、安曇川浮田医院に入院中の患者様は、スムーズに堅田浮田クリニックに入院していただける様、当院で準備するお車にて移動させて頂きます。退院間近の患者様も新しくなった医院で、より快適にお過ごしいただける様お世話致します。ご迷惑をおかけいたしますがご了承いただきたく今後ともよろしくお願い致します。

4D外来(助産師)

助産師が4Dを実施します(およそ30分)。お腹の赤ちゃんの様子が映し出されます。ご希望の方は予約してください。木曜日(掲示をご覧ください)

予防接種 ワクチン接種

子宮頸癌予防ワクチン、インフルエンザ、BCG、三種混合(DPT)、麻しん・風しん(MR)、日本脳炎、水ぼうそう、ロタウイルス、おたふくかぜ、Hib(インフルエンザ菌b型)、肺炎球菌ワクチン(小児用 プレベナー)(高齢者)、その他

予約-漢方外来

10月12日と19日の土曜日午後、予約-漢方外来があります。(電話予約可、予約制)。午後2時～午後3時15分(1人15分)

産科医療補償制度

分娩により重度の脳性麻痺となった児及びその家族の経済的負担を補償し、原因分析と再発防止策を講ずるための制度。当院で通院方に、登録証を発行しています(妊娠16～22週)詳細は受付でお聞きください。

アトピー軟膏 健康食品(グルコサミン、コンドロイチン、のどアム)

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。
・紫雲膏・太乙膏・葉酸(鉄)・霊芝・サメ軟骨・快步楽
・のどアム(ハーブ イチゴ)

漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○	○	○	○	○	○	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30	母乳相談 (予約)(有料)	母乳相談 (予約)(有料)	母乳相談 (予約)(有料)	母乳相談(予約)(有料) 4D外来	母乳相談 (予約)(有料)	予約-漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	—	(手術)	—	—	—	—	—
午後5:30～午後7:30	○	—	○	—	○	—	—

漢方 外来 (月～土) : 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。

予約-漢方外来

(2回/月 土曜日) : 3時～3時15分、3時15分～3時30分

電話予約可(10月12日、19日)

更年期外来 (月～土) 更年期の方、思春期の方 (女性、男性どなたでもお越し下さい)

不妊 外来 (月～土) : 赤ちゃんの欲しい方 (ご夫婦でもお越しになれます)

妊婦 外来 (月～土) : 妊婦健診、妊娠中の方

産後 健診 (水、金曜日) (有料) : 正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診

母乳 相談 (月～金曜日) (有料) : 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ。電話予約可

10月20日(日) 午前10:00～午後5:00まで内覧会を行います。

(近隣一般の方・医療関係者様もお気軽にご来院下さいませ。)



住所: 滋賀県大津市本堅田6-36-1
電話: 077-574-3751



やまもと いわお
山本 巖

一貫堂医学に興味を持ち、独学で漢方医学を始めた。しばらくして、神戸の中島随象に師事した。慢性中耳炎、慢性扁桃炎、蓄膿症等の疾患に処方し著効することに驚いた。師匠の間診、腹診望見事さに感激し、五感による望聞切診望の大切さを痛感した。一貫堂医学では三大証(瘀血、臓毒、解毒)だが、疾患に応じて10にも20にも病態分類した。現代医学的診断を重視し、大学病院などで治療困難と言われた方々を次々に治癒させたと言う。私の治療方法も山本流漢方治療を取り入れている。私の尊敬する漢方医の一人である。



分娩予約 11月5日より堅田浮田川に於ける診療が始まります

妊娠20週までに受付で予約(安曇川または堅田)して下さい。
ご予約には、入院誓約書、直接支払い制度合意書をお渡します。
11月5日からの分娩は、堅田浮田川に於いていただきます。

浮田医院ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp>)

トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)
産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)
漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)
老人医療のページ
健康のページ(健診、プライマルチェック、予防接種)
当院の施設案内、当院への交通(車、JR)

産後相談 母乳相談(助産師)

産後相談と母乳相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。
午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。
日程は掲示板やホームページでお確かめください。(電話予約可)

正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。
初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。
分娩希望の方はすべて受け付けています。

里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受け付けています。妊娠23～25週(母体と赤ちゃんの状態をチェックします)に1度診察においでください。当院での妊婦健診は妊娠34週から受けてください。

産後健診 赤ちゃん健診

産後健診と1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
日時: 毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

入院食(手作り)

心のごもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー……など、絶えず工夫し研究しています。

従業員募集

助産師、看護師(常勤・パート)、清掃業務従業員 ■面接: 随時、各種保険加入、賞与: 年2回、交通費支給。